



日乗連ニュース

ALPA Japan NEWS

www.alpajapan.org

Date 2005. 01.19 No. 28 - 16

発行:日本乗員組合連絡会議・ALPA Japan
幹事会

〒144-0043
東京都大田区羽田5-11-4
フェニックスビル
TEL.03-5705-2770
FAX.03-5705-3274

2005年2月6日 東京

Elmer原博士（在カナダ日系二世）による

音響・音声分析学習会

（日英通訳における博士の体験談も講演予定）

日乗連では2005年2月6日13時から東京にて、音声・音響分析の学習会を開催し、聴講者を募集しています。講演内容は以下の通りで、講演レベルは工学系大学の初期教育程度とお考え下さい。講師はカナダ在住の日系人のElmer原博士で日本語は堪能です。博士の略歴は裏面参照。

< 講演内容 >

- A. 振幅と周波数
- B. 周波数帯域
- C. フーリエ変換による周波数分布解析
- D. 狭帯域フィルター
- E. 特定の周波数除去
- F. 特定の周波数強調
- F. 反響音の取り扱い
- G. アナログ対デジタル
- H. 解読に必要な「バイリンガル才能」

博士と日乗連は日航706便事故に関する機長組合のhome pageに投稿頂いたのがきっかけで意見交換を行うようになりました。現在日乗連には「IFALPAで承認された事故調査員」の資格を持つ乗員が20名以上在籍し、今回は日航123便事故を始め航空機事故調査に於ける重要なkey pointとなるCVR解析に必要な音響分析の助言を得るべく、別件で来日される合間に日乗連のために時間を割いて頂きました。なお準備の都合上、参加を希望される方は早急に日乗連AA委員会館野委員長へお申し込みください。



略歴

Elmer H. Hara, Ph.D., P.Phys.

Elmer H. Hara はカナダ生まれの二世で、1933年1月10日に British Columbia 州 Vancouver 市で出生。1942年に日米交換船で来日、1953年に帰国。

British Columbia 州立大学より物理学・学士号 (B.Sc., Honours Physics) を取得後、1960年に物理学・修士号 (M.Sc., Physics) を同大学より授与される。同年、オタワの国防通信研究所 (DRTE: Defence Research Telecommunications Research Centre)、現在の通信研究所 (CRC: Communication Research Centre)、に就職、電離層の C・D 層研究に従事する。1968年国防省より、当時、新設された通信省 (DOC: Department of Communications) に移籍する。1970年に5年間にわたる国防省の奨学金の支援によって、オンタリオ州の University of Toronto より物理学博士号を取得。博士論文は“Rayleigh-Brillouin Scattering from Hydrogen, Hydrogen Deuteride and Deuterium”。博士論文研究のために、He:Ne レーザーの製法、高真空技術、多層膜ミラー製法、放電管制御法、Photon Counting 等の技術的知識も習得。同年、日本で開催された国際会議に論文発表のために出席、NEC 社に招待され、He:Ne レーザー製法の秘訣を説明、同社の He:Ne レーザー製品の性能向上に寄与した。

1969年からカナダに於けるフォトリニクス、及び光ファイバー研究開発の先駆者の一人として活躍、特に、光ファイバー通信網、情報スーパー・ハイウェイ、FTTH (Fiber-To-The-Home)、LAN、オン・デマンド・ビデオ、Intelligent Buildings、Smart Homes、等の研究に専心する。1973年カナダ・ケーブル・テレビ協会から最優秀論文賞を受領する。1980年 NTT (Nippon Telegraph & Telephone Corporation) 武蔵野通信研究所の基礎研究室に日加・科学交換研究員として一年間滞在、4件の特許を共同出願する。1986年6月にサスカチュワン (Saskatchewan) 州立、リジャイナ大学 (University of Regina) に招聘され、カナダ通信省 (DOC) の技術評価・開発部長 (Director of Technology Assessment & Development) の役職から通信省在籍のまま、カナダ人事委員会 (Public Service Commission) の管理職交換プログラム (Executive Exchange Program) によって出向する。同大学は工学部にサスカチュワン州電話公社 (SaskTel) と国立科学・工学研究委員会 (NSERC: National Science & Engineering Research Council) によって新たに設定された

SaskTel-NSERC Industrial Research Chair の教授として六年間、就任。1992年にカナダ通信省より引退、リジャイナ大学工学部の Adjunct Professor に就任、フォトリニクス及び、光通信システム等の研究開発に従事し、現在にいたる。1999年9月から2002年12月まで、リジャイナ大学に在籍のまま、カナダ国立の Networks of Centres of Excellence のネットワークである、Canadian Institute for Photonics Innovations Inc. の President として就任、理事会の協力のもとに、リストラを完了、古希を迎える機会に再度引退する。

16件の発明をもとに、単独、又は共同出願で、29件の特許を日米加欧で取得しており、学術論文も審査委員会を通ず論文誌に30件以上発表しており、国際会議等で発表した論文は40件以上ある。近年の特許としては、“Tactile and Visual Hearing Aids Utilising Sonogram Pattern Recognition”, Elmer H. Hara & Edward R. McRae, U.S. Patent No. 6,230,139, May 8, 2001 がある。

現在、カナダ物理学会 (Canadian Association of Physicists) の正会員であり、同学会公認の P.Phys. (Professional Physicist) でもある。同時に、サスカチュワン州の通訳者・翻訳者協会 (ATIS: Association of Translators & Interpreters of Saskatchewan) の準会員 (Associate Member) であり、カナダ国閣省 (Department of Secretary of State) の公認通訳者として日加の首相、大臣等の意思の疎通に貢献しており、カナダ通訳者・翻訳者協会 (Canadian Translators and Interpreters Council) に依頼されて、日英通訳者資格試験の審査官としての責任も果たしている。